
高齢者福祉施設等における 救急ガイドブック

相模原市マスコットキャラクター
さがみん

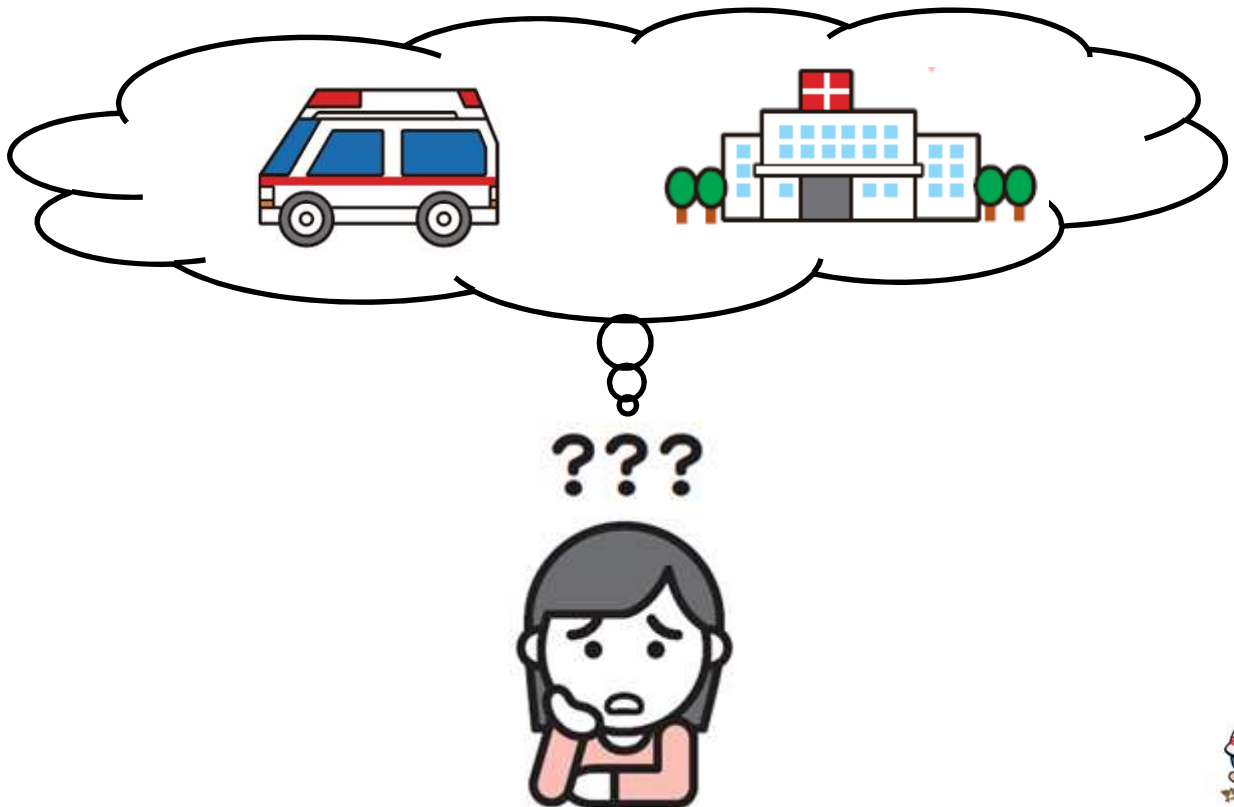


相模原市消防局 救急課

平成31年1月改訂版

もくじ

1 . はじめに	．．． P	2
2 . 救急の概要	．．． P	3
3 . 施設内での予防救急	．．． P	4
4 . 救急要請時対応ガイド	．．． P	7
5 . 救急要請のポイント	．．． P	8
6 . 救急連絡シート	．．． P	10
7 . さいごに	．．． P	14



はじめに

平成30年中の相模原市の救急出場件数は、37,498件となり過去最多を記録しました。

高齢化の進行に伴い、65歳以上の高齢者の方の搬送件数が増えており、平成30年中は17,850名で全体の53.8%を占めております。

また、高齢者福祉施設等（以下「施設」といいます。）からの救急要請も増加しており、入所者の急病や施設内での転倒事故等に起因した救急要請も見受けられます。

高齢者の方は、少しの病気やケガ等で、重症化する場合があります。

救急搬送事例の中には、「もう少し注意していれば...」「事前に対策しておけば...」未然に病気やケガ等を防げたかも知れないものがあります。

そこで、救急車が必要になるような病気やケガ等をほんの少しの注意や心がけで、防ぐ取組みを「**予防救急**」といえます。

施設内でできる「予防救急」のポイントをご紹介しますとともに、もしものときの、救急対応を円滑に行えるように、『救急ガイドブック』を作成しました。

施設の入所者が、安全・安心にいつまでも元気で暮らせるように・・・

いざというときの対応を確認し、施設の皆さまと救急隊が理解を深め、より円滑な救急対応が行えるように・・・

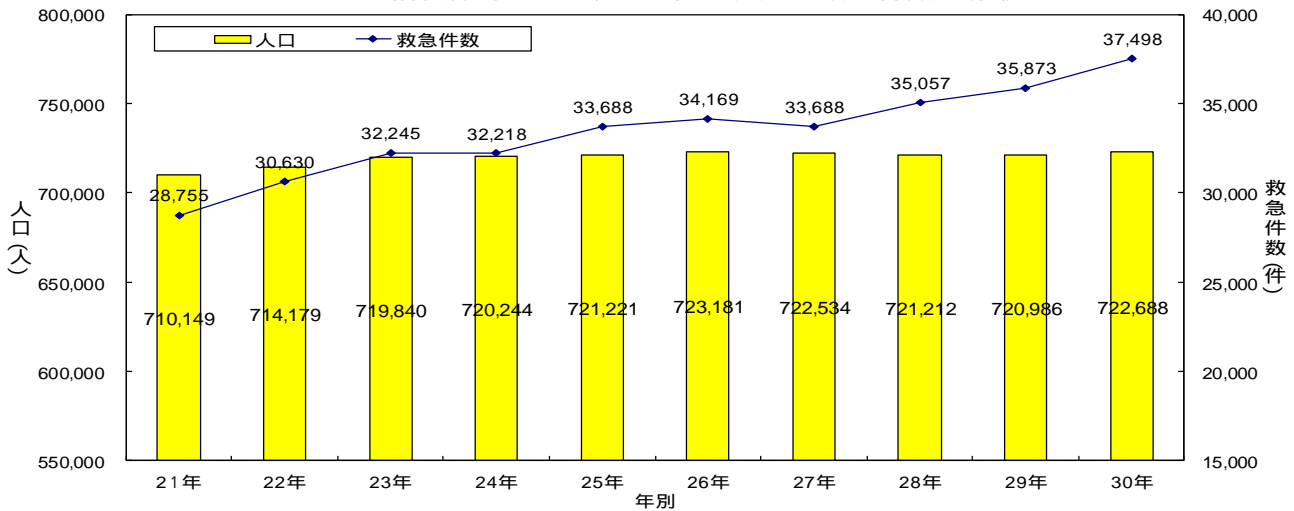
このガイドブックを、ご活用いただければと思います。



救急の概要

本市の救急の概要と、施設からの救急要請の概要について、ご紹介します。

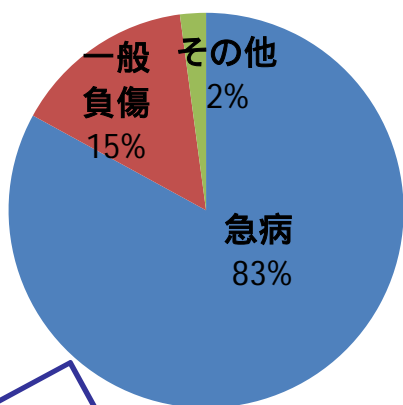
相模原市の過去10年間の人口と救急件数の推移



平成30年中の救急出場件数37,498件のうち、約6%にあたる2,354件が、施設からの救急要請でした。

そのほとんどが急病、または一般負傷で、搬送された方のうち約71%の1,622名の方が、入院が必要となる中等症以上と診断されています。

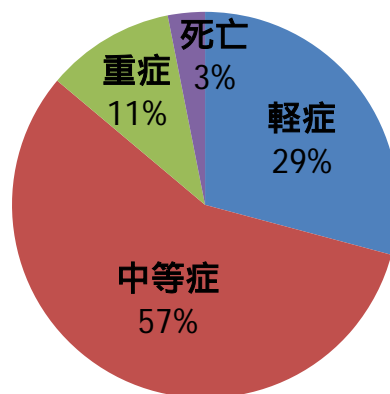
施設内発生の事故種別(30年中)



一般負傷とは…

歩行中の転倒やベッドからの転落などの不慮の事故、食べ物などの窒息事故などのことをいいます。

施設内発生の傷病程度別(30年中)



施設内の救急要請のほとんどが入院が必要となる「**中等症以上**」と診断されています。



施設内での予防救急

救急搬送事例からみえてきた、施設内でできる「予防救急」のポイントをご紹介します。

皆様の施設での状況をチェックしてみましょう！！

1 手洗い・うがいの励行

インフルエンザやノロウイルスなどの感染症が発生、拡大しないように、職員の皆さまだけでなく、入所者全員の手洗い・うがいを徹底してください。

また、感染の経路（接触・飛沫・空気など）や、嘔吐物などの正しい処理の方法など、感染予防対策を知ることによって、施設内での二次感染を防げます。

感染症に対しての、正しい知識を身につけてください。



2 転倒・転落防止

高齢者の方は、普段生活していて慣れている場所でも、小さな段差でつまずいてしまい、骨折を伴う重症となってしまう場合があります。

施設内の段差や滑りやすい場所などの危険箇所には注意するとともに整理・整頓を心がけ、廊下や部屋の明るさにも注意してください。

また、飲み物などがこぼれて、床が濡れてしまった場所でも滑って転倒してしまうことがあります。

床が濡れてしまった場合には、できる限りすぐに、ふきとるように心がけてください。

3 処方薬の副作用を確認

処方薬によっては、副作用で思った以上にふらついてしまい、ベッドから起き上がる際などに、転倒・転落してしまうことがあります。

処方薬の副作用を確認し、特に、普段から処方薬が変わったときなどは、服薬後の容態変化に注意するようにしてください。



4 誤嚥・窒息の予防

特に脳梗塞や神経疾患のある高齢者の方は、^{えんげ}嚥下運動が障害され、飲み込みにくくなっていることや咳をしづらくなっていることもあり、誤嚥や窒息を生じやすくなっています。



ゼリーや大きなお肉はもちろん、飲み込みにくいパンなどでも、窒息事故が起きています。

食べ物を、小さく切って食べやすい大きさにするだけでなく、ゆっくりと食事に集中できるような環境を作り、適宜、施設職員の方が食事の様子を見るなど、注意がけをお願いいたします。

もしも、食事中にむせるなどの症状があった場合は、食事後の容態変化にも注意しましょう。

5 温度変化に注意

高齢者の方は、温度調整機能が低下し、また、のどの湯きを感じにくくなっています。

夏季は「**熱中症**」、冬季は「**ヒートショック**」などによる救急事故が増える時期となります。

居室やリビングだけでなく、施設内のお風呂場やトイレ、廊下などの温度変化にも注意し、急激な温度変化を作らない環境づくりを心がけましょう。



6 生活状況の記録

施設職員の皆さまは、入所者の方の普段の生活状況について誰よりもよく知っています。

毎日の状況について記録し、いざというときのために、職員の皆さまが、入所者の状況を把握できるような記録を作成してください。

なお、救急要請に必要な情報『**救急連絡シート**（P10）』の作成にご協力をお願いします。



7 かかりつけ医、協力病院との連絡体制の構築

入所者ごとに、かかりつけ医師や協力病院との連絡を密にし、健康管理だけでなく、容態変化したときに、相談・受診できる体制を作りましょう。

高齢者の方であることを認識し、体調の変化に気づき、症状が発症した場合には、早めに医療機関を受診する体制を構築してください。

また、症状が悪化する前に受診することや、夜間・休日で人が少なくなる前の、早めの対応をお願いします。



8 事故発生時の対応

施設内で事故防止に努めていても、いつ緊急事態が起こらないとは限りません。

いざというときに慌てないために、施設内で、各職員がどのように行動したらよいか、検討してください。

休日・夜間など、特に少ない人数で対応しなければいけない時に、どのように行動したらよいか、できることを検討してください。

緊急時に対応する資器材（AED、救急バッグ等）の設置状況についても、事前に確認してください。



9 応急手当の習得と実施

入所者が生命の危険にさらされたとき、最初に気付くのは施設職員の皆さまです。消防局では、いざというときのための応急手当を学ぶ「救命講習会」を開催しています。

ぜひ、いざというときのために、応急手当を身につけましょう。救命講習会の申込みは、相模原市防災協会までご連絡ください。

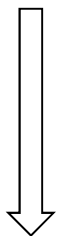
種別	講習内容	時間数
普通救命講習Ⅰ	成人への応急手当について学びます。	3時間
普通救命講習Ⅲ	小児・乳児・新生児への応急手当について学びます。	3時間
救命入門コース	成人への応急手当(胸骨圧迫・AED)を中心に学びます。	90分

お問合せ先 (公社)相模原市防災協会
TEL 042-753-9971
(受付時間 09:00~16:00 土日・祝日除く)



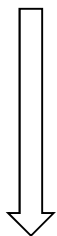
救急要請時対応ガイド

緊急事態 発生！！！！



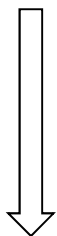
- 施設内に知らせ、職員を集めましょう
- 集まった職員に指示してください
- 傷病者に応急手当を実施してください

119番通報！！



- 住所・施設名・電話番号
- いつ？ だれが？ どこで？ どうした？
- 傷病者の今の状況（反応がない・呼吸がないなど）
- 今、実施している応急手当

救急隊到着！！ 救急隊の誘導をお願いします。



- 玄関等のかぎを開けてください
- 傷病者の今の状況を伝えてください
- 現場（傷病者のそば）まで誘導してください

傷病者の付添いをお願いします！！

- 病院への申し送りが必要です
- 傷病者の状況が分かる方が救急車に同乗してください
- カルテ等の申し送りに必要な物を持参してください

付添いができない場合などは、傷病者の必要な情報（『救急連絡シート（P10）』の内容）を、できるだけ詳しく救急隊へ伝えてください

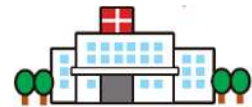


救急要請のポイント

1 施設内での対応

- (1) 緊急事態が発生したことを、施設内職員に知らせてください
- (2) 緊急事態が起こった場所に、職員を集めてください
- (3) 集まった職員の役割を分担してください
 - ア 119番通報
 - イ 傷病者への応急手当
 - ウ 関係者への連絡（家族・施設関係者など）
 - エ 救急車の誘導と、救急隊を傷病者のところへ案内してください
 - オ 何が起こったのか、どんな応急手当をしたのか説明してください
 - カ 『救急連絡シート（P10）』などの傷病者の必要な情報を、救急隊へ伝達してください

2 協力病院への連絡と搬送病院の確保



- (1) 状況に応じて、協力病院やかかりつけ医師に連絡してください
- (2) あらかじめ搬送先医療機関を交渉・確保されている場合は、当該医療機関へ搬送します
 - 緊急度・重症度により、搬送先医療機関が異なる場合もあります

3 施設職員の同乗

- (1) 医療機関への申し送りが必要です
- (2) 看護記録・介護記録・カルテ等を持参してください

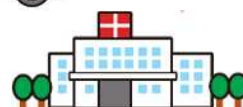
4 DNA R（蘇生処置をしないで）の意思表示

- (1) 傷病者や家族からDNA R（蘇生処置をしないで）の意思表示（書面等）がある場合は、あらかじめ協力病院やかかりつけ医師に相談してください
- (2) DNA Rの意思表示があつた場合でも、**救急隊は応急処置を、何もしないで医療機関へ搬送することはできません**
 - 心肺蘇生法などの応急処置を実施することが、救急隊の業務とされています
 - 救急隊の活動にご理解とご協力をお願いします



5 救急車の適正利用

救急車や救急医療は限りある資源です。



次のような場合は、自家用車や患者等搬送事業者（民間の救急車）などの活用に、ご理解とご協力をお願いします。

- (1) 寝たきりである、人手がないなどが理由の場合
- (2) 寝台車を利用すれば病院に行ける場合
- (3) 末期治療のためのもの
- (4) 処方薬がなくなったので、かかりつけ病院へ行く場合など、**緊急性が認められない場合**



相模原市消防局が認定した患者等搬送事業者は、次の11事業者です。内容については、各事業者に直接ご確認ください。

H30.11.22現在

	搬送事業者名	所在地	電話
1	ケアさぼーと タクシー ヨシムラ	緑区大島540-3	042-761-9774
2	ラック介護タクシー	緑区下九沢 2032-61	042-854-5840
3	介護タクシー ケアアンドエム	南区磯部944	046-219-8815
4	介護タクシー ストック	南区下溝1692	090-1800-0861
5	介護タクシー メルシアイ	南区相模大野 9-26-3	080-4832-9012
6	ケアタクシー ころろ	緑区西橋本2-18-7	080-2268-8825
7	株式会社 お出かけ日より	南区下溝312-6	0120-169-770
8	みらいかいごタクシー	緑区西橋本3-5-22	090-4595-514
9	あさがお介護タクシー	南区相南4-1-4	070-3223-4141
10	ひかりケアタクシー	中央区田名1663	090-6101-1202
11	介護タクシー くま太郎	中央区 由野台1-36-10	090-3478-5255

救急連絡シート

施設名
住 所
T E L

作成日 H 年 月 日 作成者 本人・家族・施設職員(氏名)

住 所			
ふりがな 氏 名		性別	男 ・ 女
生年月日	M・T・S・H 年 月 日	年 齡	歳 (H 年 月 日現在)
連絡先 電話番号			

医療情報

現在治療中の 病 気			
過去に医師から 言われた病気			
服用している薬			
かかりつけ 又は 協力医療機関等	医療機関名	主治医氏名(診療科目)	緊急時連絡先

普段の生活

介護区分		歩 行	寝たきり ・ 車椅子 ・ 補助歩行 ・ 自力歩行
会 話	可・不可	食 事	経 口 ・ 介助経口 ・ その他()

緊急時連絡先

氏 名	続 柄	住 所	電話番号

この救急連絡シートは、救急業務以外には使用しません。

救急搬送終了後に、同乗の施設職員に返却、又は家族、搬送先医療機関へお渡しします。

時間がある場合は、裏面に救急要請の状況や現在行った処置などを記録してください。

救急要請の状況

救急要請時に、時間がある場合は記載してください。

状態が悪く処置を行わなければならない場合は、処置を優先してください。

いつ・・・

どこで・・・

何をしているとき・・・

どうなった・・・

直近のバイタルサイン

測定時間

時

分

意識

清明

声掛けに反応：

有

無

JCS ()

呼吸数

回 / 分

脈拍数

回 / 分

血圧

/ mmHg

体温

SpO₂

%

瞳孔

現在、実施した処置・薬剤など

その他、救急隊に伝えたいこと (DNARの話し合い等)

<h1>救急連絡シート</h1>	施設名	さがみ 施設
	住所	中央区 - x -
	TEL	042 - -
作成日	H27年 9月11日	作成者 本人 (家族・施設職員 (氏名 相模 次郎))

家族・施設職員が作成した場合は、氏名をご記入ください。

住所	相模原市 中央区 - x - マンション 号棟 号室		
ふりがな 氏名	さがみ たろう 相模 太郎	性別	男・女
生年月日	M・T・S・H 9年9月9日	年齢	81歳 (H27年9月11日現在)
連絡先 電話番号	042 - - (自宅) 090 - x x x x - (携帯電話)		

医療情報

現在治療中の 病 気	高血圧 糖尿病		
過去に医師から 言われた病気	脳梗塞 心筋梗塞		
服用している薬	降圧剤、糖尿病薬、ワーファリン お薬手帳等の情報がある場合は、持参してください。 ない場合は、記入してください。		
かかりつけ 又は 協力医療機関等	医療機関名	主治医氏名(診療科目)	緊急時連絡先
	さがみ 病院	先生(内科)	042 - -
	相模 クリニック	先生(循環器科)	042 - -

救急対応時に重要な情報となります。ある場合は、最新の情報をご記入ください。

普段の生活

介護区分	要支援2	歩 行	寝たきり ・ 車椅子 ・ 補助歩行 ・ 自力歩行
会 話	可・不可	食 事	経 口 ・ 介助経口 ・ その他()

緊急時連絡先

氏 名	続 柄	住 所	電話番号
さがみ じろう 相模 次郎	長男	相模原市緑区 - x -	090 - -
つくい はなこ 津久井 花子	長女	相模原市南区 - x -	080 - -

この救急連絡シートは、救急業務以外に、なるべく複数の連絡先をご記入いただき、電話番号は連絡がつきやすい番号をご記入ください。

時間がある場合は、裏面に救急要請の状況や現在行った処置などを記録してください。

救急要請の状況

救急要請時に、時間がある場合は記載してください。

状態が悪く処置を行わなければならない場合は、処置を優先してください。

いつ・・・

月 日 時 分ごろ

どこで・・・

施設の食堂で

何をしているとき・・・

夕食を食べている最中に

どうなった・・・

突然、意識がなくなった

直近のバイタルサイン

測定時間

時

分

意識

清明

声掛けに反応：

有

・

無

JCS (

-100)

呼吸数

20

回/分

脈拍数

60

回/分

血圧

100

/

60

mmHg

体温

36.0

SpO₂

90

%

瞳孔

左右3ミリ 対光(+)

現在、実施した処置・薬剤など

酸素を2リットル投与して、SpO₂は90%を維持

その他、救急隊に伝えたいこと(DNARの話し合い等)

右耳が聞こえにくいので、左側からゆっくり話しかけてください。

かかりつけの 病院の 先生へ連絡済みです。

救急隊から、搬送時に連絡が欲しいとのことです。

(連絡先：042 - -)

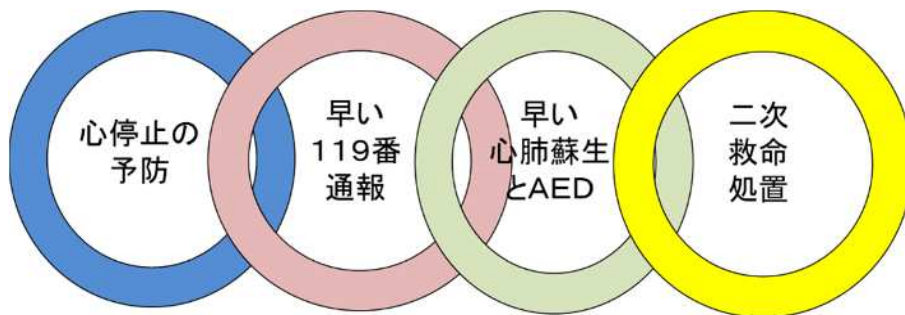
さいごに

相模原市消防局では、増加する救急要請に適切・的確に対応するために、病気やケガ等を未然に予防するための取組み「予防救急」を推進しています。

ほんの少しの注意や心がけで、防ぐことのできる救急事故があります。高齢者は、少しの病気やケガ等で中等症以上（入院）となることが多く、重症化してしまうこともあります。

是非、施設の皆さまにおきまして「**予防救急**」に取り組んでいただき、高齢者の方がいつまでも元気で、安全で安心して暮らせるように、ご協力をお願いします。

また、いざというときの対応を、施設の皆さまで確認していただき、施設の皆さまと救急隊がより円滑な救急対応が行えるよう、ご理解とご協力をお願いいたします。



『**救える命**』を救いたい！！

救命の連鎖（リレー）に皆さまの力を！！

「救急要請するか？」
迷ったときに使用するアプリです！！



総務省消防庁「Q助」案内サイト

https://www.fdma.go.jp/neuter/topics/filedList9_6/kyukyuu_app.html



全国版救急受診アプリ
Q助
きゅーすけ

症状の緊急度を素早く判定!!!
救急車を呼ぶ目安に!!!

消防庁では、住民の緊急度判定を支援し、利用できる医師数が少ない地域の情報を提供するため、緊急度判定プロトコルver.2（家庭自己判断）をもとに全国版救急受診アプリ（Q助 きゅーすけ）を作成しました。





火事・救急は119



住 所

施設名

電話番号

緊急時の連絡先

救急のとき



傷病者の状況

年 齢

性 別

症 状

意 識

呼吸の有無 など

火事のとき



火災の状況

建物の階数

燃えている状況

避難状況

初期消火の状況 など



緊急時、あわてずに119番通報できるように、ご活用ください。